

優秀賞

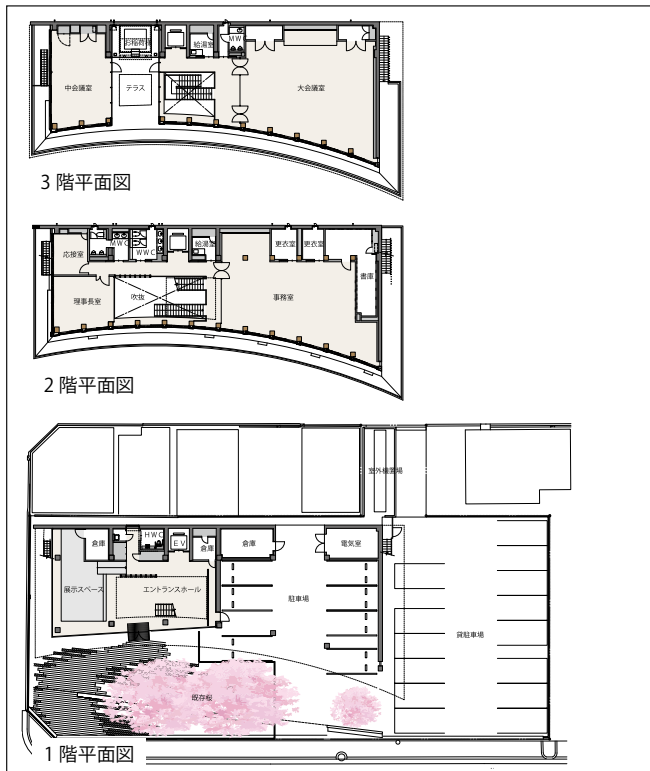
生活施設  
(近畿地区)

## 大阪木材仲買会館

南面  
ファサード

バルコニー

所在地	大阪府大阪市西区南堀江 4-18-10
敷地面積 (m <sup>2</sup> )	1,226.40
建築面積 (m <sup>2</sup> )	437.75
延床面積 (m <sup>2</sup> )	1,032.19
構造/階数	W + RC 造、一部 S、SRC 造/地上 3
事業者	大阪木材仲買協同組合
設計者	(株) 竹中工務店
施工者	(株) 竹中工務店
竣工年月	2013 (平成 25) 年 3 月
総工事費	464 百万円



3 階平面図

2 階平面図

1 階平面図

本建物の計画時、「公共建築物等の木材利用促進法」の制定により木材利用の促進が進められていたが、都市部密集地において構造材、仕上材ともに木造とした中規模以上の建築物を国内で初めて実現したことで、普遍性を持った先駆的モデルとなっている。

耐火木造の実用化に加え、素材としての木の魅力の啓蒙、伝統建築に做った木にやさしいディテールというデザインの開発、都市空間における木造建築の環境的・空間的価値の再発見を行った。

3層式耐火集成材の開発を含め、企画・設計・工事までをわずか2カ年で完成させたトータルエンジニアリングの力によって、設計施工の利点をアピールした。

RC造の旧会館時から住民に親しまれてきた樹齢65年の桜を残し、土地の記憶を継承する地域のシンボルとすることで、新たな都市景観を実現している。

特別な広報はしていないが、竣工後1年半ほどの間に、木材、建築業界をはじめ、行政、大学等多方面から5,000人を超える見学者が訪れている。

建築学科の学生を対象に、仲買組合員を講師にした「伝統建築工法」の講義を開催し、小学5年生を対象とした木工、樹種当て授業を行うなど、木材に親しみと興味を持ってもらう活動「木育授業」を実施している。

## 木の“ぬくもり”に出会える空間

会館の建て替えに当たり、国産材を使い木材業界のランドマーク的な建物を提案してほしいと設計プロポーザルを行いました。竣工後5年間で国内外から木材業界のほか、建築・設計、教育、行政などの関係者が多く訪れ、木材業界を超えた社会的な関心を集めるなど、幅広い分野でのランドマーク的な建築物と評価されています。この建物は、木の現しをやさしく美しく見せているので、働いている職員にとっても非常に居心地のよい空間となっています。

また、休祭日でも会議室の提供や見学対応をしています。それは少しでも多くの人に無垢の木のよさを知ってもらい、木質・木造の文化が普及し林業の活性化により森林サイクルが構築されることで、日本の国土が守られることを願っているからです。

(大町洋三・大阪木材仲買協同組合 事務局長)